

# 評 定 書

評定 CBL FP013-19 号

システム計測株式会社  
代表取締役 久保 豊 様

令和 6 年 11 月 29 日付で評定(更新)依頼された下記の案件について、一般財団法人ベターリビング評定規程第 8 条に基づき、基礎・地盤評定委員会(委員長 工学博士 中井 正一)において審査した結果、本件の「T-EAGLE 杭工法(中間拡径部と拡底部の両方またはいずれかを有する場所打ちコンクリート杭工法)」は、依頼者が提案する方法により設計・施工された杭は所定の支持力性能を有するものと評定する。

## 記

1. 件 名 T-EAGLE 杭工法(中間拡径部と拡底部の両方またはいずれかを有する場所打ちコンクリート杭工法)
2. 評定事項 本評定は、「T-EAGLE 杭工法(中間拡径部と拡底部の両方またはいずれかを有する場所打ちコンクリート杭工法)」について、依頼者より提出された資料に基づき、依頼者が提案する方法により当該工法を適用した地盤の許容支持力並びに引抜き方向の許容支持力を算定できることを審査したものである(詳細は別添)。
3. 評定区分 一般評定
4. 有効期限 令和 12 年 3 月 30 日

更新評定発行日 令和 7 年 2 月 28 日  
原評定発行日 令和 2 年 3 月 31 日



一般財団法人 ベターリビング  
理事長 眞鍋 純

